



第6回 IRCCS フォーラム産学共創ワークショップ (学術変革領域A「π分子複雑性」融合マッチングワークショップ)

開催日時:2026年1月14日(水) 14:00–16:55

話題テーマ: 分子複雑性が導く反応性・光物性創発の化学:理論と実験の展開

開催方法: 対面+online: ハイブリッド形式

開催場所: 野依記念物質科学研究所 2階講演室

趣旨: IRCCSでは、IRCCSフォーラム会員企業への情報発信とサービス提供を一つのミッションとしている。そこで会員企業への online での研究成果公開を前提に、一つの大きな(学際)研究テーマを定め、IRCCS 参加4大学のうち最低でも 2 大学の教員が名古屋に集い必要に応じて4大学以外からゲスト講演者も迎え、その研究テーマに沿った小型の講演会(ワークショップ)を開催し、企業会員の方々からの質疑応答を受け、大学間連携だけではなく産学連携(まずは学びの場の提供)も推進する。

プログラム

開会挨拶・趣旨説明

14:00–14:05 柳井 育 博士 (名古屋大学 ITbM 教授)

話題提供(14:05–16:55)

14:05–14:35 塩田 淑仁 博士 (九州大学先導物質化学研究所 准教授)

「計算化学の反応機構解析への応用:
高難度触媒反応とその触媒サイクルの理解を目指して」

14:35–15:05 森 俊文 博士 (九州大学先導物質化学研究所 准教授)

「溶液内反応における構造ダイナミクスと化学反応の協奏の理論研究」

15:05–15:25 休憩

15:25–15:55 平田 修造 博士 (電気通信大学 大学院情報理工学研究科 准教授)

「有機りん光を増強する π 発色団と典型元素間の
スルーボンド・スルースペース相互作用」

15:55–16:25 柳井 育 博士 (名古屋大学 ITbM 教授)

「有機色素分子の輻射・無輻射過程を理解する
励起状態ダイナミクス計算法の高度化」

16:25–16:55 納戸 直木 博士 (名古屋大学 学際統合物質科学研究所 助教)

「光触媒に対する機械学習アプローチ: 情報の転移と説明可能性」

懇親会(17:05–19:00)